

平成26年度 第5回 安渡地域復興協議会

資料3 検討テーマについて

1. 検討テーマ
2. 人が集まる中心的な場所の必要性
3. 安渡地域について（検討に関わる情報）
4. 想定される今後の安渡の
まちづくりスケジュール
5. 協議内容
6. 慰霊の場について
7. 次年度の協議会について

1. 検討テーマ

安渡の『人の集まる中心的な場所』を考える

①人の集まる中心的な場所
どこにつくるべきか？

②人が集まる中心的な場所の作り方
バス停、郵便ポスト、移動販売者が
集まる場所、花壇をつくる場所、ベン
チを置く場所などをどう作るか？

2. 人が集まる中心的な場所の必要性

人の集まる中心的な場所とは

- ・住民が顔を合わせ、挨拶、立ち話
- ・子育てや老後の話など、多世代の会話・交流



安渡のまち・コミュニティの再生

人の集まる中心的な場所ができると

- ・そのまわりに、徐々に、人が集まる施設ができてくる可能性もあるのではないのでしょうか？

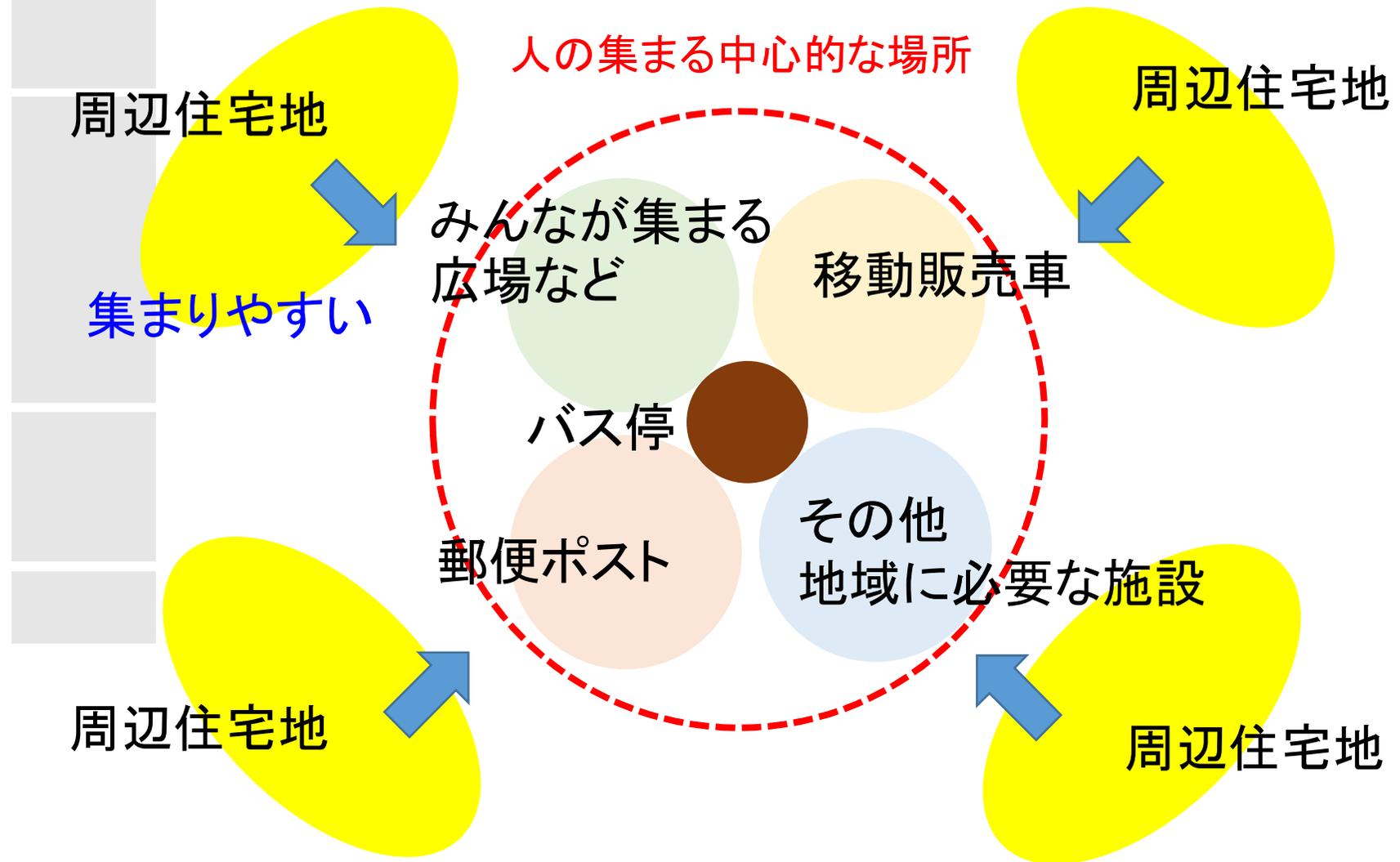
新しいまちの機能も

- ・ 中心的な場所の形成にあわせて、超高齢化にも新しい健康づくりやケアといった課題にも対応したコミュニティ生活環境のあり方も検討しては？

検討のポイント

- ◆ 住民が平均的に歩いて通える場所にある
- ◆ バス停など生活に必要な施設が集まる
- ◆ 挨拶から住民活動まで、住民交流・互助が集まる

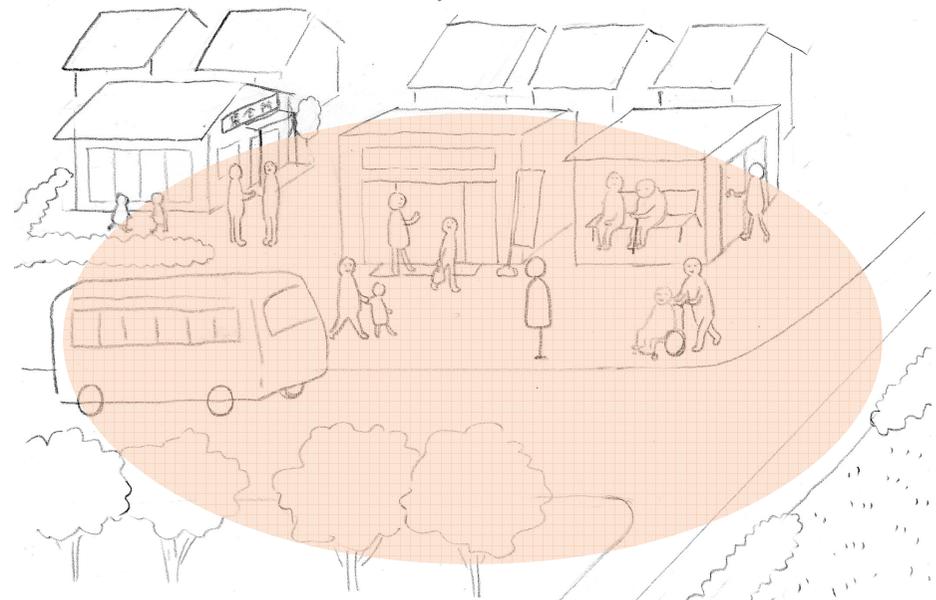
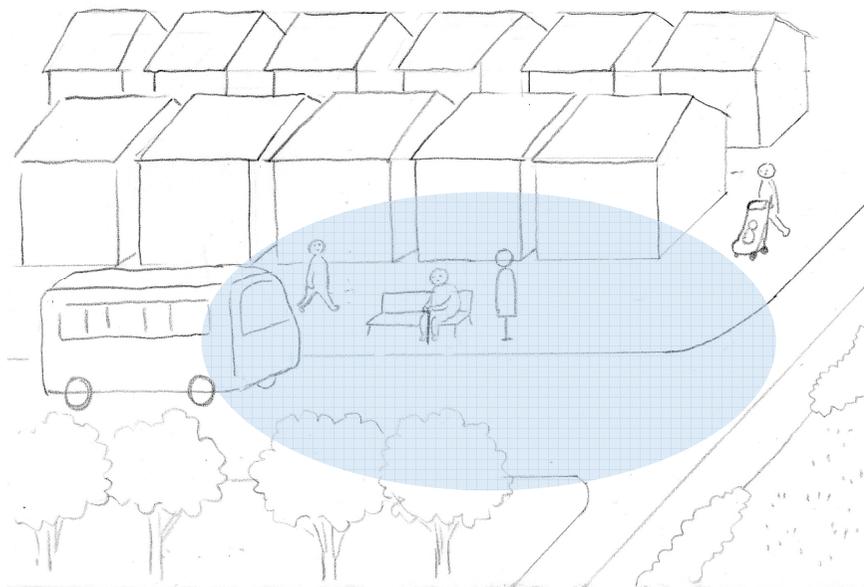
イメージ: 安渡では避難ホール・公民館が全体の中心
加えて、エリアごとに集まる場所も必要では？



住宅地内にバス停のみ

人が集まる中心的な場所をつくる場合

まちの中に、パブリックの場所ができ、
みんなが集まりやすく、賑わい・交流がうまれる



3. 安渡地域について（検討に関わる情報）

(1) 安渡の世帯数

現段階で把握できている情報を基に、復興後に想定される安渡の世帯数は以下のとおりです。今後増減が予想されます。

被災しなかった世帯	90世帯(※1)
土地区画整理事業対象世帯	136世帯(※2)
防災集団移転事業(募集数109区画)	72世帯(※3)
災害公営住宅(募集数77戸)	77世帯(※4)
合計	376世帯

(参考:震災前 798世帯)

- ※1 大槌町都市整備課調査より。ただし数値については概数です。
※2 安渡地区における都市区画整理事業対象地権者数(平成26年10月時点)です。
※3、4 平成26年度「住宅再建に関する最終意向確認(一次募集)」による申込者数です。なお、災害公営住宅については募集数を上回る申込者数だったため、募集数と同数にしました。

(2) バス停設置に関する事業者の方針

岩手県交通では、地域からの要望があればなるべく取り入れ、利用しやすい路線を運行していく方針とのことです。

路線が継続して運行されるよう、地域の皆さんとより良い経路づくり・バス停づくり・公共交通機関を利用する仕組みづくりについて考え、その結果を岩手県交通に伝えていきます。

(3) 郵便局再建に関する事業者の方針

現状では町方地区での郵便局の再建を進めている段階で、安渡地区での郵便局再建は今後地域の状況を見て検討していくとのこと。

(4) 区画整理区域内で再建予定の事業者

再建の意向を確認できている人は少数です。

4. 想定される今後の安渡の まちづくりスケジュール

防集移転先団地の引渡時期	H28上半期～H29上半期
区画整理地内の土地の引渡時期	H28上半期～H28下半期
災害公営住宅の入居時期	H28上半期～H29上半期
産業エリアへの企業立地	H28より稼働する企業あり

資料：第4回地域復興協議会資料(H26. 11. 16)

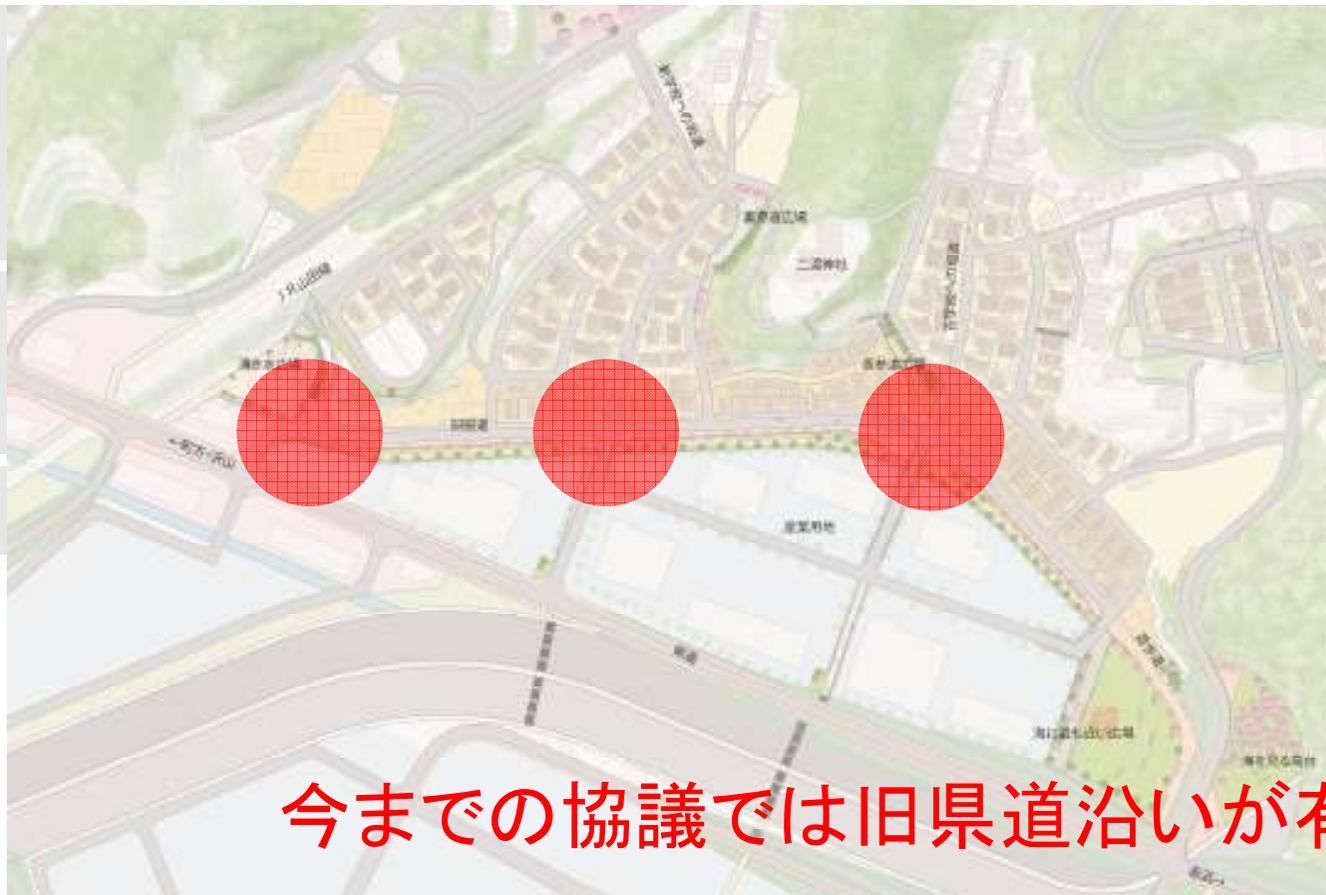


防災集団移転、区画整理事業地内で、個人のペースにあわせて住宅建設が進むことを想定しても、5年後には、概ね安渡のまちは出来ていると想定される。

5. 協議内容

①人が集まる中心的な場所

「人が集まる中心的な場所」はどこにあるべきでしょうか？
そこには、どのような機能・役割が必要でしょうか？



今までの協議では旧県道沿いが有力？

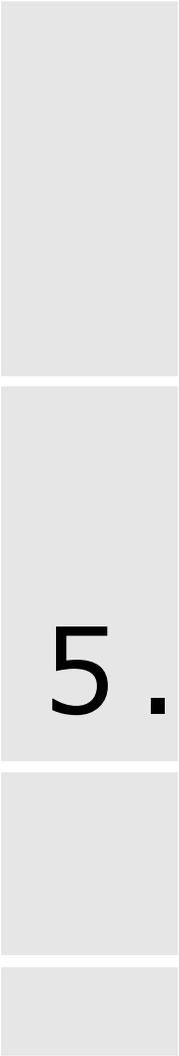
②人が集まる中心的な場所の作り方

バス停、郵便ポスト、移動販売車が集まる場所などをどのようにつくるべきでしょうか？

花壇づくりやベンチを置くなど、地域が主体となり、中心的な場所をつくるために、どのような活動が必要でしょうか？

②安渡に必要な生活サービス(シールで投票)

	男性	女性	合計
①食料品が買える店	1(60代)	4(50代、60代2名、80代)	5
②日用品が買える店	1(60代)		1
③美容院・床屋			
④クリーニング店			
⑤衣料品店			
⑥飲食店(食堂など)		2(30代、50代)	2
⑦飲み屋	1(50代)		1
⑧ガソリンスタンド			
⑨保育所	5(50代2名、60名、70代2名)	1(30代)	6
⑩郵便局	2(50代、70代2名)	3(60代2名、80代)	5
⑪その他			14



5. 慰霊の場について

6. 次年度の協議会について

平成25年度
まで

デザイン
ノート等

地域
復興
協議会

平成26年度

道路・広場のデザイン

湧き水広場、旧県道、
海に最も近い広場・海を見る高台、
新学校への坂道、裏参道広場、
古学校への坂道、二渡神社参道

公共施設の管理

人が集まる中心的な場所

避難路 など

平成27年度

今年度同様
復興事業の進捗
確認とともに

・今年度の協議
会でまとめた
意見への回答

・ソフト面での
課題(自治会
活動等)など

について協議
を進めていく